

川瀬巴水

旅と郷愁の風景

KAWASE
HASUI

Travel and Nostalgic Landscape

左(芝増上寺(東京二十景))1925年
右上(本場の夕暮(東京十三題))1920年秋
右下(馬込の月(東京二十景))1930年

※上記作品は渡邊木版美術画舗所蔵

令和4年 1月7日(金)~2月20日(日)

- ◆休館日 / 1月11日(火)、17日(月)、24日(月)、31日(月)、2月14日(月)
- ◆開館時間 / 午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)
- ◆会場 / 大分市美術館企画展示室

- ◎主催 / 大分市美術館、大分合同新聞社、OBS 大分放送、川瀬巴水展実行委員会
- ◎後援 / エフエム大分、J:COM 大分ケーブルテレコム、NOAS FM、ゆふいんラジオ局
- ◎特別協賛 / ヤクシグループ **風之荘**
- ◎特別協力 / 渡邊木版美術画舗
- ◎資料提供 / 大田区立郷土博物館 ◎企画協力 / ステップ・イースト

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、〈マスク着用・検温・手指消毒・連絡先記入・入場制限〉と〈新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」インストール〉にご理解とご協力をお願いします

 大分市美術館
OITA ART MUSEUM

■観覧料

一般1,000円(800円) / 高大生700円(500円)
/ 中学生以下無料

- ※()は前売り、20人以上の団体料金です。
- ※上記観覧料でコレクション展も併せて観覧できます。
- ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料です。
- ※本展は「大分市美術館年間パスポート」がご利用できます。

■前売券

販売期間: 令和3年12月1日(水)~1月6日(木)
販売所: 大分市美術館、大分合同新聞社本社受付・同プレスセンター、大分放送事業部、トキハ会館、ローソンチケット(TEL: 090-82957)、チケットぴあ(PIコード: 685-842)

Travel and Landscape 旅と郷愁の風景



①《西伊豆木負》1937年6月



②《駿河奥津町(東海道風景選集)》1934年3月



③《月島の渡船場(東京十二月)》1921年10月

大正から昭和にかけて活躍した版画家・川瀬巴水(1883-1957)の回顧展です。巴水は、日本全国を旅し、天候、四季や時刻の表情を大切に郷愁を誘う、かつて日本のどこにでもあった風景を、浮世絵の伝統を引き継ぐ技法の木版画で描き続けました。

巴水の版画制作を支えた版元の渡邊庄三郎は、海外にも通用する木版「美」の構築を目指して、絵師・彫師・摺師の共同作業による浮世絵の技術をより高度に進化させ、西洋画の技法や色彩を取り入れ、当時としてはモダンな感覚や画家の個性を引き立てた「新版画」を推進します。その背景には、欧米の機械印刷や写真の登場による浮世絵版画の衰退がありました。

本展は、「昭和の広重」とも称された巴水の初期から晩年までの木版画作品の中から、代表的なシリーズを中心に構成し、ノスタルジックな日本風景版画の世界に誘います。



④《別府の朝(日本風景選集)》1922年



⑤《平泉金色堂》1957年
※図版①～⑤は渡邊木版美術画師所蔵

ワークショップ「新版画風ポストカードを作ろう！」

- ◆日時 / 令和4年1月29日(土)、30日 午後1時30分～午後4時
- ◆場所 / 大分市美術館ティラウンジ企画展示室
- ◆内容 / 重ね刷りをして新版画風のポストカードを作成します。
特別展「川瀬巴水 旅と郷愁の風景」を解説付きで鑑賞します。
- ◆参加費 / 制作者1人につき1,000円
※高校生以上の方は別途本展団体観覧料が必要、年間パスポート使用可
- ◆講師 / 野村菜美(大分県立芸術文化短期大学 非常勤講師)
- ◆定員 / 各回10人(多数の場合は抽選)
※対象:小学生以上(小学4年生までは保護者同伴)

【申込方法】

③往復はがきにて下記の事項を記入して大分市美術館「版画ポストカード」係まで
 ≪往信≫ ①ワークショップ名 ②参加希望日 ③住所 ④電話番号
 ⑤参加者全員の氏名 ⑥年齢または学年(小・中学生は学年)
 ≪返信≫ 代表者宛先(郵便番号・住所・氏名)

申込〆切/12月6日(月)必着

ステイブ・ジョブズも 魅了した巴水

アップル・コンピュータの共同創業者ステイブ・ジョブズは、日本の新版画を愛し、特に川瀬巴水はお気に入りの作家でした。図版①はジョブズが購入した中にもあった作品です。

関連展示

大分県立芸術文化短期大学グラフィックアートコース [ISO GRAPHICS DX]

- ◎会期 / 令和4年1月23日(日)～2月6日(日)
午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)
- ◎場所 / 大分市美術館研修室
- ◎内容 / 2019年より創設されたグラフィックアートコースは、印刷、複製芸術によるプリント表現を柔軟に取り入れた思考を研究し、次世代の新しい視点を学ぶ教室として、独自の現代の発想を広く社会に提案する活動をはじめました。10年に至る活動を記念した「So Graphics DX」展では、木村秀樹氏をゲストに迎え、グラフィックアートコースの学生・教員と共に作品を出展します。
- ◎入場料 / 無料

木村秀樹氏特別講演

- ◎講師 / 木村秀樹氏(画家・版画家)、菅章(大分市美術館館長)、於保政昭(モデレーター:大分県立芸術文化短期大学准教授)
- ◎内容 / グラフィックアート(版画)をテーマに、基調講演と当館館長との対談を行います。
- 【木村秀樹氏プロフィール】1948年、京都市生まれ。第9回東京国際版画ビエンナーレで京都国立近代美術館賞受賞など国際展での評価も高く、日本を代表する版画家の一人。嵯峨美術短期大学助教授を経て京都市立芸術大学教授を務め多くの後進を輩出。近年では作品制作のほか、独自の版画論を展開し、海外での講演活動も数多く行う。
- ◎日時 / 令和4年2月5日(土) 午後2時～午後3時30分
- ◎場所 / 大分市美術館ハイビジョンホール
- ◎参加費 / 無料
- ◎定員 / 40人(新型コロナウイルス感染状況により変更有)
- ◎申込方法 / 当日先着順

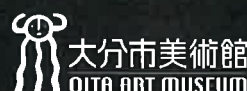


大分市美術館 交通アクセス

- ◆バス
JR大分駅上野の森口(南口)バスのりばから中心市街地循環バス【大分きゅんバス】【大分市美術館方面】行約7分
- ◆タクシー
JR大分駅上野の森口(南口)から約5分
- ◆車
東九州自動車道 大分ICから約10分



新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会期の変更、関連イベントを中止する場合があります。最新情報は、大分市美術館ホームページをご確認ください。



〒870-0835 大分市大字上野865番地
Tel 097-554-5800 Fax 097-554-5811



大分市美術館HP